

山鹿市職員の育児休業等に関する条例施行規則の一部を改正する規則をここに公布する。

令和 7 年 9 月 3 0 日

山鹿市長 早 田 順 一

山鹿市規則第 3 2 号

山鹿市職員の育児休業等に関する条例施行規則の一部を改正する規則

山鹿市職員の育児休業等に関する条例施行規則（平成 1 7 年山鹿市規則第 3 7 号）の一部を次のように改正する。

第 1 0 条に次のただし書を加える。

ただし、第 1 号及び第 3 号又は第 4 号に掲げる場合において、失効し、又は取り消される育児短時間勤務の 1 週間当たりの勤務時間及び承認に係る期間の末日（当該育児短時間勤務が延長されている場合にあっては、延長された期間の末日）が、引き続いて承認される育児短時間勤務の 1 週間当たりの勤務時間及び期間の末日と同一である場合にあっては、人事異動通知書に代わる文書の交付その他適当な方法をもって人事異動通知書の交付に代えることができる。

第 1 2 条の見出し中「請求手続」を「請求、第 2 項申出及び第 3 項変更の手続」に改め、同条第 1 項中「承認の請求」の次に「、育児休業法第 1 9 条第 2 項の規定による申出（以下「第 2 項申出」という。）及び同条第 3 項の規定による変更（以下「第 3 項変更」という。）」を加え、「育児部分休業承認請求書（様式第 5 号）」を「部分休業簿」に改め、同条に次の 1 項を加える。

- 3 任命権者は、第 2 項申出時に予測することができなかった事実が生じたことにより第 3 項変更をしなければ条例第 2 3 条の 5 に規定する子の養育に著しい支障が生じるか否かを判断するため必要があると認めるときは、第 3 項変更をしようとする職員に対して証明書類の提出を求めることができる。

様式第 5 号を削る。

附 則

この規則は、令和 7 年 1 0 月 1 日から施行する。